

対象年度	令和 3年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	青少年教育推進事業							予算事業名	青少年教育推進事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			10	05	03	2001	経常経費					
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ③青少年の健全育成							事業の区分	主要事業			
	1青少年を取り巻く環境整備							担当課係等	生涯学習課 生涯学習係			
事業期間	継続 (昭和56年度～令和 3年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 次世代を担う青少年が、各種団体が行う魅力ある様々な体験活動を通し、健全に成長していく。							【事業開始のきっかけや他市の状況など】 青少年育成結城市民会議規約(昭和56年) 結城市子ども会育成連合会会則(昭和35年)					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 青少年健全育成市民会議や結城市子ども会育成連合会など、青少年の健全育成に取り組む団体に補助金を交付し、その活動を支援するとともに、広域で活動に取り組む団体等に負担金を支出し、近隣地域と連携を図りながら活動を実施する。							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 青少年及び青少年育成団体等					
							【事業をとりまく環境の変化】 少子高齢化、核家族化、情報化社会の進展により、青少年を取り巻く環境は大きく変化している。 また、少子化に伴い、子ども会自体が減少している。					
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				
・青少年の豊かな心を育む大会開催 ・上部団体市町村負担金 ・市学校警察連絡協議会負担金 ・補助金の交付				・青少年の豊かな心を育む大会開催 ・上部団体市町村負担金 ・市学校警察連絡協議会負担金 ・補助金の交付				・青少年の豊かな心を育む大会開催 ・上部団体市町村負担金 ・市学校警察連絡協議会負担金 ・補助金の交付				

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	1,550	1,633			
歳 入 計 (千 円)		1,550	1,633			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	34	92			
	10 需用費	0	11			
	11 役務費	18	26			
	12 委託料	8	8			
	13 使用料及び賃借料	14	16			
	18 負担金補助及び交付金	1,476	1,480			
歳 出 計 (千 円) (A)		1,550	1,633			
伸 び 率 (%)			5.35			
備 考	総合計画121ページ 予算書178ページ					
	※事業費：青少年教育推進事業費のうち、スクールサポート推進事業・広島派遣事業・青少年相談員連絡協議会補助金は別計上 ※R4工事請負費：青少年研修所解体工事費計上					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	支援開催事業数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	・子ども夢・かるた取・野外研修・リーダー指導者育成研修会・花コンクール・球技(2回) ・豊かな心・親子木工教室(2回)・子ども体験(中止)		実績	10.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	支援開催事業参加人数	人	目標	800.00	800.00	800.00
			実績	803.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	本市の将来を担う青少年の健全育成は不可欠な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	各地域ごとに、それぞれの団体が地域の青少年育成活動を積極的に行っているが、指導者の高齢化が課題となっている。
	手段の妥当性	A 妥当である	各種団体の特徴を活かして、幅広い事業を展開している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	即効性のある活動は少ないが、青少年の育成に係る事業であるため、地道に継続することが必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	事業範囲は市内全域にわたり、概ね公平に便益を与えられている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	青少年教育の重要性について、地域と学校が一体になって考え、取り組むことによって成果が向上している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	概ね計画通り進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各種団体については、事業を通して相似団体と連携強化を図りながら、効果的な事業実施に努めているが、青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応した事業展開が行えるよう、若手指導者の育成と家庭・地域の連携を強化しつつ、体系的に事業を進めるていくことが課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
各種団体は、時代の流れや地域の実情に合わせた事業をバランスよく展開できるよう努めており、中心となっている青少年団体や指導者の知識と経験が十分に発揮できるよう、事務局が県の育成協会や県西東部地区青少年育成市町民会議連絡会と情報交換を交えながらサポートしていく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>少子化に伴い、子供達が子供同士で共に遊びながら、学び成長する機会や環境が減少しているため、時代の情勢の変化に柔軟に対応しながら、青少年の育成に適した活動を実践していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>